



YOKOHAMA
MOTOMACHI
CraftsmanshipStreets



カワイイを探して。

motomachi

face

no.41

仲通りメール 通巻93号 令和7年6月 2025(夏)

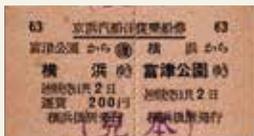
稗元町HISTORY

8

千葉が近かった頃

■定期船の風景

焼玉エンジンを積んだ小さな動力船の独特なゴトゴト音が川面に響き始め谷戸橋に近づくと少し速度を落としながら、岸にへばりつくように係留されている舢舨の合間をぬい前田橋を過ぎようとしていた。



市電が通過する西の橋をくぐり、右岸にある雁木を過ぎると船は亀ノ

橋手前で小刻みに転回し石段横に停まった。岸で待つ男に船から投げられた舢舨をキャッチするとゆっくり手繰り寄せられた船は雁木すれすれに近づくと、陸から板が渡され下船が始まった。

その日は七、八人の下船客に混じって行李を三つ重ねて背負った女性が数人揺れる渡し板を軽やかに早足で降り立った。

女性たちは週に三回程度、主に新鮮な千葉の新鮮な魚介類と野菜を運び、お得意先廻りを終え帰りの便が発するまでの時間に、彼女たちは元町や石川町で必要な買い物を済ませると、最終便で家路に戻るのが日課だった。※

このような風景を記憶している方も元町には多い。横浜と富津を往来する定期船が堀川を走る風景は明治40年代から昭和30年代まで続いた。その後、定期船の大型化によって山下頭発着となり堀川の定期船ルートは消えていくことになる。

東京湾フェリーが就航、さらにはアクアラインの完成によって横浜と富津の船による交流は無くなってしまった。

■沖の風景

海に見える小高い丘から沖を眺めると東京湾を多くの船舶が往来する様子が手に取るように見える。晴れた日には、房総の山並みが意外なほど近くに迫る。古来より多くの人々が見てきた対岸



の風景である。

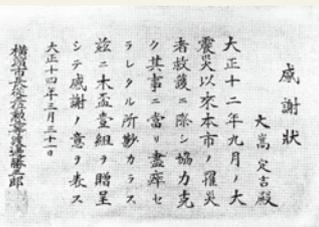
千葉にある「袖ヶ浦市」の名は神話に由来する。そして横浜帷子川河口域にもかつて袖ヶ浦と呼ばれていたと伝わっている。地図を眺めると沖に見える千葉はとても近い。

歴史的にも湾を挟んだ兩岸の関係は深く、古文書には漁場で争った兩岸の村々の記録が残っている。面白いことにその殆どは富津村の勝訴だった。

富津との関係は開港以降さらに深く繋がる。横浜港の開発資材、外国人の洋館群に代表される横浜の近代建築、坂道擁壁構造を支えた石積には鋸山の「金谷石」「元名石」と呼ばれた房総石が多く使われた。木版画家の川瀬巴水が描いた『石積む舟(房州)』には石材を運ぶ石切人夫と小さな船の姿が描かれている。

■繋がる人達

1923(大正12)年の大震災があった直後、いち早く立ち上がった漁師たちが居た。対岸で火の手があがる様から被害の大きさを感じた富津の漁師たちは船団を組み救援の船を差し向けた。その後も彼らが持っていた潜水技術を活かし復興に尽力したという。



この頃からだろうか。富津の人たちにとって横浜が隣町だった時代が戦後まで続く。「映画を観に(船で)伊勢佐木に行ってくる」といった具合だった。湾を渡った人たちは行商だけでは無かった。

「新作(映画)を良く見に行きましたね。船ですぐでしたからね。映画は伊勢佐木でした。偶然地元仲間にもあつたりしました。観終わった後は必ず元町に行き一休み。お店の知り合いも多く元町で買い物を済ませると船で帰ったものです」昭和30年代の思い出を富津のお年寄りが語ってくれた。東京湾には独特の潮流(循環流)があり、大きく東回り、西回りと逆転する。船乗りはこの潮を良く知っていて潮流を活かして船に乗ると、小さな船でも早く横断できたそうだ。

■未来へ

今年度、石川町に待望の棧橋が誕生する。引き続き谷戸橋際の棧橋計画も進んでいるようだ。これをキッカケに堀川と富津岬を結ぶ航路が再開し兩岸の交流が深まることを微かに願いたい。

※インタビューによる再構成



河北直治

横浜界隈研究家。横浜路上観察学会世話人。趣味は市内徘徊。市境を川崎市から横須賀市まで三回踏破、市内全駅下車など歩くことが大好き。

rublanc (ルブラン)

小さなスイーツが心を動かす場所でありたい。



横浜市中区元町1-39-1
元町太陽ビル
TEL: 045-204-6708
【営業時間】
10:00~19:00
【定休日】
火曜日



店長
中山 恒成

「小さくて、カワイイ」をテーマにお店をつくっています。仲の良い兄妹。ずっと一緒にいて、ケンカすることはないんですか?と聞くと店長の中山恒成さん(兄)は「ないですね」と即答。19歳のパティシエの紋萌さん(妹)は2023年の「スイーツ甲子園」で優勝した実力派。そんなふたりをマネジメントするのは高濱さくらさん。笑顔の眩しい3人。rublancは3人のイメージカラー (rouge、brun、blanc) を混ぜ合わせ、ピンク、ベージュをお店のテーマカラーにしました。名前の由来はその3人のイメージカラーを組み合わせた造語だから。

コーヒーは自家焙煎というこだわりよう。スイーツはサイズを小さめにして、ちょっとだけ甘いものを食べたい時はもちろん、すこしばつ、色々な種類をたくさん楽しみたい時にもぴったり。日常の中にある「ちょっと嬉しい」を届けながら、小さくて大きな町おこしの拠点にしたいと、夢は大きい。

●NOTE: 2階の奥の引き戸の奥は隠れ家のようなバーコーナーが、カワイイだけじゃない、ちょっと大人びた空間も。



マンゴーミルク、カフェラテはいずれも730円、ホットコーヒー680円。アフタヌーンティーは、お一人様3,000円。

じざいや

紬、木綿に特化したセレクトショップ。



横浜市中区元町3-145-2
TK1ビル3F
TEL: 045-662-8005
【営業時間】
12:00~19:00
【定休日】
月曜日・火曜日



店長
柳田 さくらこ

和服を難しいもの、敷居の高いものと考えていませんか。じざいやでは着物の中でも紬、木綿を取り扱います。日常のなかで気軽に着物を楽しんでいただけるように。昔は子供だっ一人で着られたもの。着付けは決して難しいものではありません。例えば家にお母様の着物があたら一度持って遊びにいらして下さい、お教えしますよ、と言われると、いつの間にかその気になってしまう。

よく笑う。よく話す。新しいものも、すぐに取り入れる軽いフットワークで「パソコン通信」の時代から店のホームページづくりやブログも着手してきた。次から次へと浮かぶアイデアを形にしてい。オリジナルのデザインの商品が次々生まれる。自身も飼っている犬や猫のモチーフも多い。お客様に合わせてデザインすることも。せっかとお金を出して買わんですから他にないものにしてあげたい、という。洋装にも使える可愛らしい小物も多数。

●NOTE: 2001年に南区の阪東橋から始まって中区の野毛へ移転、2006年からは元町(3丁目)へ。2020年に現在の汐波坂へ。根強いファンに支えられて現在に至る。



じざいやは、外商も展示会もしていません。経費をかけない分だけお求めやすい価格で提供できるとのこと。

BLANKET DONUTS横浜元町

モチモチのドーナツをテイクアウトしてSo good!!



横浜市中区元町1-29
ジキヤビル1F
TEL: 080-2332-2416
【営業時間】
11:00~18:00
【定休日】
月曜日



店長
府川 杏希

テキサスの田舎街で誕生したクラフトドーナツ。生ドーナツとは違う、クラシックスタイル。「クラフトマンシップストリート」によく似合うスイーツだ。一日限定300個。無くなり次第終了なのでできるだけ早めの来店がおすすめ。もともとスイーツやパンが大好きだった府川さん。ブランケットドーナツの日本一号店、倉敷まで足を運んで工場見学もした。大手の量産のドーナツは夏場でも溶けないようにグレース(ドーナツをコーティングするシロップ)に植物性の油を使用していることを知る。余計なものを一切使用しない。素材は国産、揚げる油は米油。そんな味や製法に惚れ込んだ。

夏場は溶けやすいのでテイクアウトしたら冷蔵庫へで冷やしてください。召し上がる時に電子レンジで5~10秒(500w)。ふわっと復活します。また、中にカスタードの入ったクリームドーナツはトースターで軽く焼くと美味しいですよ、と教えてくれた。

●NOTE: ドーナツファンなら、この夏1枚ほしい。バックプリントも可愛いコットン100%のTシャツは3,500円。



店長の推しはクラシック・グレース(290円)。期間限定だったアールグレイも定番化予定。土日ならチョコレート+マシュマロ+ナッツの「スモア」を狙ってみて。

MiRie

大人の女性のためのセレクトショップ。



横浜市中区元町2-80-6
【営業時間】
11:30~17:30
【定休日】
月曜日(不定休)

MiRie Owner /
Accessory Artist
熊田 和美



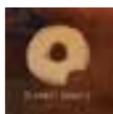
代官坂をすこし登った左手、赤い旗と青い壁のドアを開ける。洋服、バック、帽子、ジュエリーなどが並ぶMiRieがある。『Mi』は日本語の「美」そして、英語の「Me」『Rie』スペイン語で「笑う」。熊田さんは美しく笑う。「エレガンスとは、決して色褪せない美しさなのです」オードリー・ヘップバーンの名言。

ベルギーで7年間アクセサリ制作を基礎から学び、帰国後にFiore di Pesca(フィオーレ・ディ・ペスカ)を立ち上げた。ブランド名は、イタリア語で桃の花。二人の娘、桃子と花子の成長とともにブランドも成長していきたいそんな想い込が込められている。現在はオトナ可愛い女性のためのアクセサリを制作販売。ヨーロッパパマダムの着こなしから学んだ『エレガントカジュアル』なスタイルを発信中。

●NOTE: 一見、華やかでボリューム感がたっぷりあるのに、つけてみると驚くほど軽い。留め具部分にはマグネットを使用しているため着脱も簡単。ネックレスとブレスレットで揃えるのも楽しい。



クロシェはフランス語でかぎ針編みの意味。中世ヨーロッパのレース網の技法。ガラスパールやキャッツアイ、貝、ウッドなど様々な素材で編みあげている。



至極のドーナツ体験
BLANKET DONUTS横浜元町

横浜市中区元町1-29
ジキヤビル1F
TEL: 080-2332-2416
定休日/月曜日
営業時間/11:00~18:00



スイーツが心を動かす場所

rublanc
横浜市中区元町1-39-1

元町太陽ビル
TEL: 045-204-6708
定休日/火曜日
営業時間/10:00~19:00



茶葉を選び氷で味わう
KAKIGORI CAFE

横浜市中区元町2-107
TEL: 045-319-4116
定休日/月曜日
営業時間/11:00~19:00(Lo 18:30)



Order Jewelry
Iris 横浜元町

横浜市中区元町3-124-1
高橋第二ビル2F
TEL: 045-225-9810
定休日/月曜日
営業時間/13:00~21:30

Iris
jewelry.since2020



ArômeTilleul

アロマと整体のパーソナルケアサロン
アロムティユル

横浜市中区元町3-132
H'Sビル202
TEL: 090-6976-3828
定休日/不定休
営業時間/10:30~22:30



天然パールとカメオの宝飾店
アライズ

横浜市中区元町4-167-1F
TEL: 045-319-4289
定休日/月曜日
営業時間/11:00~17:00

ARISE



第23回 横浜元町フードフェア2025 開催決定
2025年10月4日(土)・5日(日)